

11 本庁舎等整備工事News

令和6年11月号 Vol.15 作成/庁舎整備担当部庁舎建設担当課 〒154-8504 世田谷区世田谷4-22-33
 ☎03-5432-2986 FAX03-5432-3006 協力/大成建設株式会社東京支店

現在、2期棟建設地で、掘削工事を進めています



北側(国士舘大学側)より、工事敷地全体の状況を撮影



旧第3庁舎跡地の掘削工事の様子

旧庁舎の地上躯体の解体工事が完了し、掘削工事を開始しました。

本庁舎等整備工事では、旧第1庁舎と旧第3庁舎の躯体解体は概ね終了し、現在は、新庁舎の地下部分の工事を行うため、掘削工事を進めています。

中央区道は、新庁舎の地下通路の構築等を行うことから、引き続き、工事エリアとなりますので、一般車両、歩行者共に通り抜けができません。ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

東2期棟建設地

旧第1庁舎 解体工事の状況

旧第1庁舎では、大型重機のアームが最上部まで届かないことから、上層階は、小型重機を建物に寄せ、建物上部から解体する「階上解体」を採用しました。その後、重機を入れ替え、低層階は、大型重機による解体を行いました。



階上解体の実施にあたっては、外周部は防音パネル、屋上には破片飛散防止の為、ネットを設置していました。



大型重機による解体状況

東2期棟建設地

掘削工事の状況



現在は、地下部分の解体作業と同時進行で、掘削工事を進めています。今後、令和7年3月頃にかけて、地表面から約13メートルの深さまで掘り進めていきます。

旧第1庁舎 円筒の煙突内壁の煉瓦

旧第1庁舎には、地下にあったボイラー室からの排気のために、煙突が設置されていました。煙突内部は高温となることから、耐火煉瓦(レンガ)が設置されていました。この耐火煉瓦は、一部、保存しましたので、今後、展示等を検討します。



解体前の煙突



煙突解体状況



西2期棟建設地

旧第3庁舎 解体・掘削工事の状況

西側敷地では、基礎部分を含め、概ね、旧第3庁舎の躯体解体工事が終了し、現在は、掘削工事を行っています。11月1日現在、地表面より約1.5メートルまでの一次掘削が完了しました。最終的には、約13メートルの深さまで掘削工事を進めていきます。

令和6年7月19日撮影



旧第3庁舎

大型重機による旧第3庁舎の解体状況

令和6年11月1日撮影



第2庁舎

一次掘削が完了しました。今後、段階的に地表面から約13mまで掘り進めていきます。

中央区道

旧地下通路 解体工事の状況

●解体工事

中央区道では、旧第1庁舎と第2庁舎を繋いでいた旧地下通路の解体を行いました。

今後、中央区道では、新庁舎の東西棟をつなぐ新設の地下通路の構築作業を進めていきます。



①掘削作業を行い、旧地下通路の躯体を掘り出した後、コンクリートを解体しました。



②解体作業完了後、コンクリートがらを搬出しました。この後、土で埋め戻しを行いました。



③埋め戻しが完了しました。今後は、新庁舎の地下通路の構築を行っていきます。